



◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介します。…担当/久保 きみ

岸本の国道から北へ入り路地を進むと、パツと目に入る色とりどりの楽しい壁画。自宅の壁やブロック塀に、趣味で子どもたちの大好きなキャラクターなどを描いている井上義盛さん(66)は、壁画を通して地域活性化に積極的に取り組んでおられます。

壁画で笑顔に

約20年前、自宅の屋根の塗り替えをしていた時のことです。井上さんは、遊び心で飛行機の絵を描いてみました。すると、予想以上に子どもたちは大喜び、お母さんたちからは「たまあ！これに乗ってハワイへ行かないかねえ」と絶賛されたとか。

絵は人の気持ちを明るくし、コミュニケーションを広げられると感じたことが壁画を描き始めるきっかけになったそうです。

仲間がぞくぞく

今では「アンパンマン」や「ガンダム」、「ど根性ガエル」などの人気キャラクターやヒーローをはじめ、懐かしい漫画も加わり、その数40種類以上に。ポケモンジエトやアンパンマン列車は、窓の数や大きさの割合も本物に忠実な縮尺で描かれ



ています。「この窓の下には、このキャラクターがあるろう。本物と一緒にでえ」と井上さん。今にも動きそうな力作です。また、小学生の卒業記念で壁画制作の指導に出かけることもあり、子どもたちの夢も広がっています。

観光案内もおまかせ

西側の塀にはお得意の縮尺を生かした「ごめん、なはり線」の各駅のキャラクターと、その地域の名所、名物などが描かれています。うわさを聞いて訪れた人に観光案内をするなど、情報発信にも一役かっています。

チューリップが咲くころには

昨年、井上さんがデザインしたチューリップの花でつくった「帆船に乗った龍馬像」が大好評だった「かがみ花フェスタ」。

今年もデザインを考え、花の配色など来場者に楽しんでもらえるように工夫を凝らしています。3月6日にオープンし、19、20日の両日は、子どもたちが乗れるミニS1が走るということで人気を集めそうです。



「香南市は県東部の玄関口です。お客さんに、また来たいと思ってもらえるよう、おもてなしの心が見えるPRをと思っています。壁画を中心にいるような人と知り合うことができ、これからもイベントを通して多くの人と協力し合っていきたい」とやる気満々の笑顔でお話してくださいました。

80種類8万株のチューリップが咲き誇るころには、軽妙なトークで、お客さんを楽しませる井上さんのガイド姿も見られることでしょう。

2月28日(月) 13:30~16:30 のいちふれあいセンター

香南市 高知大学 報

連携事業 報告会

たくさんのご参加をお待ちしています!

問い合わせ
香南市企画課
☎ 57-8503

香南市と高知大学は、平成20年9月に香南市の活性化と振興を目的に連携協定を締結し、食品産業の人材育成、水産業の振興、下水高度浄化技術開発、特産品開発などを進めてきました。これらの事業の成果報告会を開催します。

- 香南市における新規下水道処理技術の導入
高知大学農学部教授 藤原 拓
- 養殖魚の品質改善と鮮度保持技術
高知大学農学部教授 森岡 克司
- 養殖魚の高付加価値化について
高知大学農学部准教授 深田 陽久
- 高知県における食品産業人材の育成～土佐FBC～
高知大学副学長 兼 国際・地域連携センター長 受田 浩之
- 市民による企画カタログ～香南まるごと旨市～
高知大学国際・地域連携センター准教授 石塚 悟史

